

被爆樹木二世を世界に

—種や苗木を育てながら平和への思いを共有しましょう—



縮景園の被爆イチョウ（広島市）



平和首長会議



はじめに

1945年8月6日午前8時15分、一発の原子爆弾により広島の街は廃墟と化しました。また、同年8月9日午前11時2分には長崎の街でも原子爆弾が炸裂し、壊滅的な被害をもたらしました。その年の暮れまでに両市合わせて約21万4千人の市民が亡くなりました。

被爆樹木は、被爆の惨禍に遭いながらも再び芽吹き、市民に生きる勇気と希望を与えるとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え掛けています。

平和首長会議では、国内外の加盟自治体に平和のシンボルである被爆樹木の種や二世の苗木を配付し、市民に育成してもらうことにより、平和意識の醸成を図る取組を実施しています。

この取組を通じて、世界中の人々に広島・長崎の被爆の実相を理解し、核兵器廃絶を願う被爆者の切実な思いを共有していただきたいと思っています。

貴自治体でも、被爆樹木二世を育ててみませんか。



苗木をお届けするまでの手順

国内の加盟自治体には、広島の被爆アオギリ二世の苗木と長崎の被爆クスノキ二世の苗木を配付しています。

STEP 1 平和首長会議事務局へお問い合わせください。

STEP 2 配付希望日の1か月前を目途に、申請書を事務局へ提出してください。

STEP 3 苗木と説明標識を希望日に指定の場所へ送付します。

STEP 4 植樹後は、植樹の実施報告書（様式任意）の提出をお願いします。

※ 苗木の送料及び説明標識の作成・送料は事務局が負担します。

※ 被爆クスノキ二世の苗木は、日本非核宣言自治体協議会（非核協）

との連携により、非核協事務局が送料を負担し、送付の手配を行います。



アオギリの苗

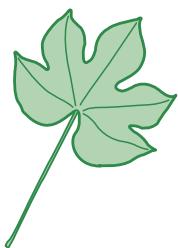


クスノキの苗



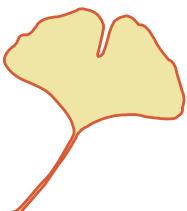
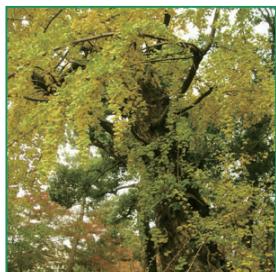
種や苗木を配付している 広島の被爆樹木

広島の被爆樹木のうち、以下の9か所 8種類の種や苗木を、国内外の加盟自治体に配付しています。



1 アオギリ（平和記念公園） 爆心地から1,300mで被爆

旧広島逓信局の中庭で被爆し、爆心地側の幹半分が熱線と爆風により焼けてえぐられましたが、翌1946年には青々とした芽を吹き返しました。1973年に現在の場所に移植されました。



2 イチョウ（縮景園） 爆心地から1,370mで被爆

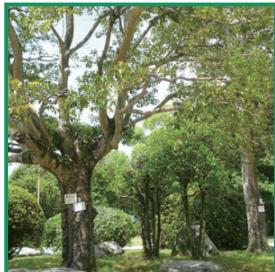
このイチョウは、樹齢200年以上と言われており、原子爆弾の影響により傾きましたが、原爆投下後に発生した火災にも耐え、今も大きな枝を広げています。



3 クスノキ（広島城堀北端） 爆心地から1,120mで被爆

原爆投下当時、クスノキのすぐそばにあった広島陸軍幼年学校の火災の火が燃え移ったため、爆心地とは反対側に焼けた傷が残っています。





4 クロガネモチ (広島城)

爆心地から910mで被爆

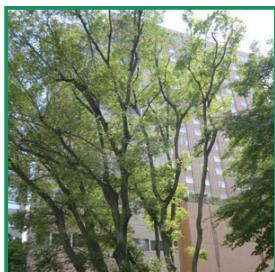
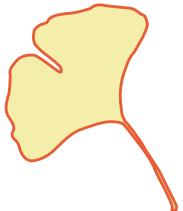
1894年の日清戦争開戦後、広島城内に大本営が置かれていた頃、大本営前の庭園に植えられていました。被爆に耐えた3本が生き残っています。



5 イチョウ (報専坊)

爆心地から1,120mで被爆

原爆投下で幹に大きな裂け目ができましたが、報専坊(寺院)で今も元気に育っています。この木が原子爆弾で崩壊した本堂を火災から守ったとされています。



6 エノキ (白神社前 平和大通り緑地帯)

爆心地から530mで被爆

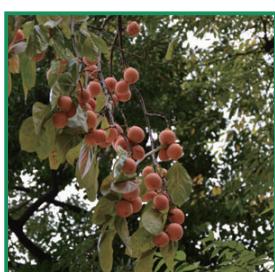
原爆投下により枯れてしまったため、一度切り倒されてしまいましたが、切り株から芽を吹き返し、現在では高木に成長しています。



7 ムクノキ (白神社前 平和大通り緑地帯)

爆心地から530mで被爆

3本あったムクノキが被爆して地上部が焼失しましたが、焼け残った根元から新芽が生え成長しました。そのため幹に大きな傷痕は見られません。



8 カキ (白神社前 平和大通り緑地帯)

爆心地から530mで被爆

被爆して生き残った唯一のカキの木です。毎年秋になるとたくさんの渋柿の実をつけます。



9 ナツメ (平和大通り緑地帯)

爆心地から1,430mで被爆

幹には原子爆弾による傷痕がありますが、毎年夏になると芽を出し、秋には赤い実がたわわに実ります。戦後の平和大通り整備に伴い、近隣から現在の場所に移植されました。





被爆樹木マップ（広島）

原子爆弾により、多くの樹木の幹は折れ、焼き尽くされました。そうした中、広島市では、爆心地から概ね半径 2km 以内に生き残った約 160 本の樹木を被爆樹木として登録しています（2022 年 3 月時点）。

国内外の加盟自治体へ種や苗木の配付実績がある 9 か所 8 種類の樹木以外にも、シダレヤナギ、ソメイヨシノ、ユーカリ、ソテツ、ボタン、サルスベリ、ウメ（紅梅）などが今も被爆の惨禍を伝えています。





苗木を配付している 長崎の被爆樹木

長崎の被爆樹木のうち、次の苗木を国内加盟自治体に配付しています。



1 クスノキ（山王神社）
爆心地から 800mで被爆

原子爆弾により枝葉は吹き飛び、幹は黒焦げとなって大きく裂け、一時生存が危ぶまれましたが、2か月後には芽吹き、その強い生命力で市民を勇気づけてきました。

1969年、長崎市天然記念物に指定。2016年国指定史跡となった長崎原爆遺跡の遺構の一つ「二の鳥居」がある山王神社で、今も豊かに葉を茂らせています。



山王神社 二の鳥居

被爆樹木を守ろう

広島市は爆心地から概ね半径2km以内、長崎市は半径4km以内で被爆した樹木を、被爆樹木として登録・認定し、保存・継承に取り組んでいます。

両市では樹木医に依頼して、被爆樹木の健康診断等を定期的に行い、樹勢や環境の変化などに伴い対応が必要な場合は、土壤改良や環境改善などの樹勢回復措置を行っています。

また、樹木医が樹木ごとに診断カルテを作成し、その後の経過観察に役立てています。

このような取組を通じ、被爆の実相を語るとともに、その惨禍を乗り越えた生命力の象徴として貴重な存在である被爆樹木を、良好な状態で後世に引き継げるよう大切に守っています。



被爆樹木マップ（長崎）

爆心地から半径 4km 以内の樹木は、強烈な爆風と熱線により、多くがなぎ倒され、炎上しました。長崎市では、その焦土の中を生き抜いた 30 本の樹木の保存・活用に取り組んでいます（2022 年 3 月時点）。山王神社の被爆クスノキ以外にも、カキ、ツツジ、ザクロなどが今も被爆の惨禍を伝えています。



数字 1 は、p.5 の被爆樹木クスノキ（山王神社）の位置を示しています

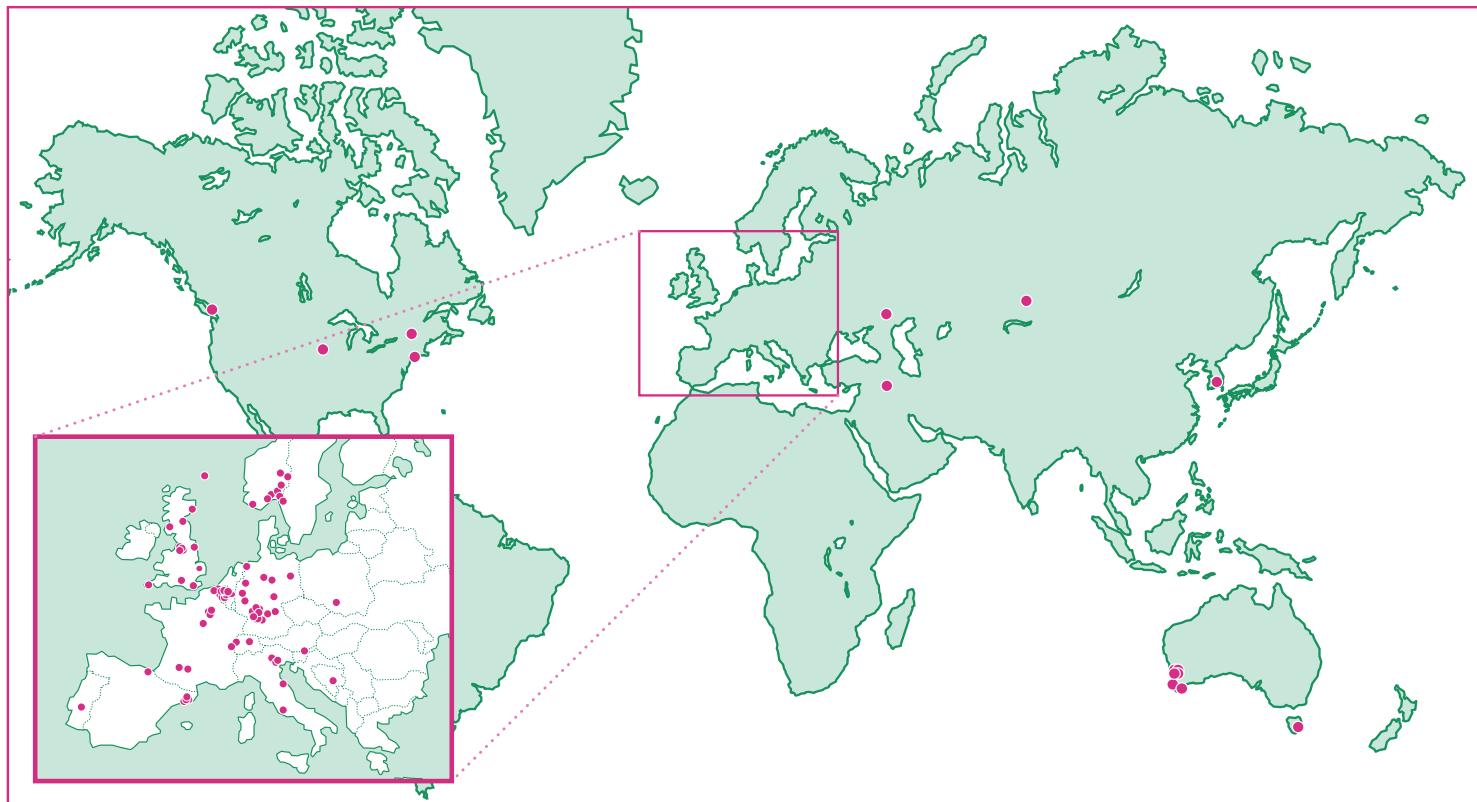
: 被爆樹木



世界各地で育つ被爆樹木二世

専門の樹木医と相談しながら、各都市の気候に合った樹木を選び、その種や苗木を19か国 88 自治体 4 団体に配付しています(2022年3月時点)。

- 被爆樹木二世配付先 (海外)



2022年3月時点

	国名	配付自治体・団体名
1	オーストラリア	オールバニー、バッセルトン、コックバーン、フリマントル、ホバート、ロッキンギハム、スピアコ
2	ベルギー	ブリュッセル、デインゼ、エルペ・メレ、ヘント、ホルスピーク、イッヒテヒム、イーペル、リヒターベルデ、モールスレード、オウデンブルグ、テセンデルロー、フルネ、ウォルテゲム・ペーテゲム
3	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ
4	カナダ	モントリオール、オークベイ
5	フランス	グリニー、ラセラン、マラコフ、オクシタニー・ピレネー=メディテラネ(地域圏)、パリ、サン
6	ドイツ	アーレン、バート・クロイツナハ、ベルナウ・バイ・ベルリン、ボン、ブラウンシュヴァイク、ブレッテン、コースフェルト、エムデン、エアフルト、ガウ・アルゲスハイム、ハノーバー、ヘルツォーゲンアウラハ、クレーフェルト、ランゲン、ローテンブルク・オプ・デア・タウバー、リュッセルハイム・アム・マイン、シュベービッシュ・グミュント、シュトゥットガルト、チュービンゲン
7	イラク	ハラブジャ
8	イタリア	チェルヴィア、ミラーノ、スピネーア、ティエーネ、イタリア議会
9	カザフスタン	セメイ
10	ノルウェー	フレッドリクスタッド、フロン、ハルデン、クヴィネスダール、ラルヴィク、リングサーケル、サンデ、スケズモ、ヴァレル
11	ポーランド	オシベンチム
12	ポルトガル	エヴォラ
13	ロシア	ボルゴグラード
14	スロベニア	ラドリエ・オブ・ドラヴィ
15	韓国	ノグンリ国際平和財団
16	スペイン	カノベレス、ガヴァ、ゲルニカ・ルモ、グラノラーズ、サン・フェリュ・デ・ロブレガド
17	スイス	ルツェルン、レナン、国連ジュネーブ事務所
18	英国	アバディーン、コーンウォール、エジンバラ、ヘイスティングス、ヘブデン・ロイド、キングストン・アポン・ハル、マンチェスター、ノリッジ、オールダム、ロッチデール、シェトランド、サウス・エアーシア、ウィンチェスター
19	米国	デモイン、ディスラプター・ファウンデーション



日本各地で育つ被爆樹木二世

広島の被爆アオギリ二世の苗木と長崎の被爆クスノキ二世の苗木を 31 都府県 123 自治体に配付しています(2022 年 3 月時点)。



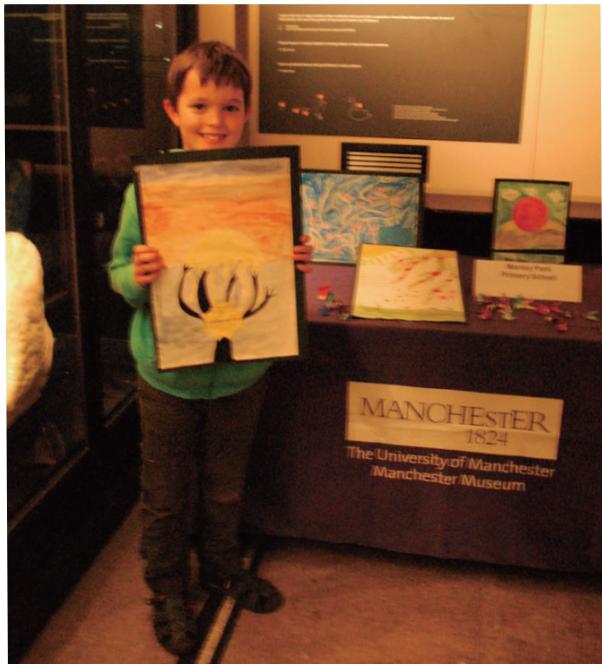
2022 年 3 月時点

	都府県名	自治体数	配付自治体名
1	宮城県	1	美里町
2	山形県	1	酒田市
3	茨城県	4	石岡市、ひたちなか市、那珂市、大子町
4	群馬県	3	沼田市、藤岡市、安中市
5	埼玉県	10	川口市、本庄市、草加市、蕨市、和光市、桶川市、久喜市、新座市、坂戸市、杉戸町
6	千葉県	4	成田市、八千代市、匝瑳市、一宮町
7	東京都	11	港区、江東区、杉並区、荒川区、三鷹市、青梅市、府中市、小金井市、小平市、国立市、多摩市
8	神奈川県	12	川崎市、相模原市、平塚市、藤沢市、小田原市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、座間市、寒川町、清川村
9	新潟県	4	新発田市、燕市、上越市、胎内市
10	富山県	1	魚津市
11	石川県	1	野々市市
12	長野県	6	松本市、安曇野市、池田町、小谷村、山ノ内町、野沢温泉村
13	岐阜県	5	高山市、美濃市、羽島市、瑞穂市、関ヶ原町
14	静岡県	2	富士市、長泉町
15	愛知県	8	一宮市、半田市、大府市、岩倉市、日進市、長久手市、扶桑町、幸田町
16	三重県	2	伊勢市、伊賀市
17	京都府	1	亀岡市
18	大阪府	8	岸和田市、高槻市、泉佐野市、箕面市、羽曳野市、摂津市、泉南市、熊取町
19	兵庫県	7	洲本市、芦屋市、赤穂市、宝塚市、三田市、淡路市、稻美町
20	奈良県	1	生駒市
21	和歌山県	1	広川町
22	島根県	2	松江市、宍道市
23	岡山県	2	倉敷市、笠岡市
24	広島県	3	東広島市、廿日市市、世羅町
25	徳島県	4	石井町、北島町、藍住町、つるぎ町
26	香川県	1	丸亀市
27	福岡県	7	福岡市、八女市、筑後市、古賀市、岡垣町、香春町、川崎町
28	長崎県	5	諫早市、大村市、平戸市、南島原市、長与町
29	大分県	2	日田市、玖珠町
30	鹿児島県	2	鹿児島市、霧島市
31	沖縄県	2	石垣市、豊見城市



被爆樹木を活用した取組事例（海外加盟自治体）

マン彻スター市（イギリス）



小学生による被爆樹木の絵画等の展示
(2015年8月)

マン彻スター市では、広島・長崎の被爆の惨状と、被爆樹木が都市の復興のために果たした役割を若い世代に伝えるため、市内の小学校を対象に、平和に関する絵画や詩のコンテスト「プロジェクトG」を2015年に実施しました。子どもたちの作品の一部は、マン彻スター博物館で展示されました。

コンテスト参加校には順次、被爆イチョウ二世の苗木が贈呈・植樹されており、苗木を平和のシンボルとして育てることにより、子どもたちが被爆の実相を知り、平和について考えるきっかけになっています。

チエルヴィア市（イタリア）



“Pacifico”と子どもたち
(2019年9月)

チエルヴィア市では、姉妹都市のドイツ・アーレン市から贈呈された広島の被爆イチョウ二世の苗木を、2015年に市内の公園に植樹しました。苗木はイタリア語で平和を意味する“Pace”から“Pacifico”と名づけられ、公園に近接する小学校の児童たちの手で大切に育てられています。

この小学校では、植樹をきっかけに入力タイプを通じた被爆体験証言の聴講を数回行い、更に2017年6月には被爆者を同市に招きました。子どもたちは平和に関する絵画や詩を被爆者に披露し、被爆の実相について理解を深める機会となりました。



被爆樹木を活用した取組事例（国内加盟自治体）

高山市（岐阜県）



高山市での植樹式（2016年6月）

2015年度に「高山市平和サミット」を開催した際に、平和首長会議の会長である広島市長から手渡された被爆アオギリ二世の苗木を、原子爆弾による惨禍が二度と繰り返されないことと世界恒久平和の実現を祈念し、市長や中学生の代表らが市内の公園に植樹しました。

植樹後、中学生が広島への修学旅行や平和学習から感じた思いを平和メッセージとして発表し、「アオギリが高山に根を張り、生きていく今日という大切な日に、私たちの平和への思いもしっかりと根を張り巡らせ、発信していく」と誓いました。

高山市ではこのアオギリが平和の尊さや原子爆弾の悲惨さを考える一つのきっかけとなることを願い、成長を見守っています。

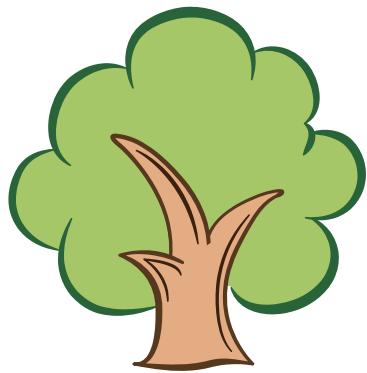
古賀市（福岡県）



平和学習・植樹の様子
(2017年6月、7月)

古賀市では、2016年度から3年計画で、市内の全小・中学校において、長崎の被爆クスノキ二世の植樹を行い、児童・生徒の平和学習に活用しています。

植樹式では、長崎で被爆した方の講話を聴いた後、一緒に植樹を行い、被爆樹木を大事に育て、原子爆弾の悲惨さと平和の大切さを学び続けることを誓いました。さらに小学校では、長崎への修学旅行に向けて事前学習を行い、現地でのフィールドワークとして親木である山王神社の被爆クスノキを訪れ、被爆に耐えて現在も成長を続ける生き証人の姿を確認しました。



Mayors for Peace

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される平和首長会議加盟自治体は、事務局にお問い合わせください。

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号

公益財団法人 広島平和文化センター 国際部 平和首長会議運営課

TEL : (082) 242-7821 FAX : (082) 242-7452

E-mail : mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp